



しゃぼん玉、飛ばそう！

バプテテスト心身障害児(者)を守る会

愛の手を

第204号

発行責任者
 社会福祉法人 バプテテスト心身
 障害児(者)を守る会
 重症心身障害施設 久山療育園
 重症児者医療療育センター
 理事長 宮崎 信義
 編集責任者 中村 晴光
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
 ☎(092)976-2281
 FAX (092)976-2172

「共に生きる」——久山療育園の歴史を顧みて——

評議員選任・解任委員／古賀バプテテスト教会員

金子純雄

久山療育園は、心身に重い障
 がいを負った人たちと共に生き
 ること、彼らを社会の片隅では
 なく、中心とするような社会を
 という祈りから始まりました。

「出来れば福岡市の中心地に建
 てたかった」と川野直人初代理
 事長は10周年記念誌の中で述懐
 しておられますが、それは「久
 山こそわたしたちが生きる社会
 の中心だ」という強烈なまでの
 主張だったと思います。その思
 いを継承し努めて来られた療育
 園関係者の45年にわたる真摯な
 営為と寄せられた幾多の祈りと
 ご支援に心から敬意を表し、感
 謝を共にしたいと思います。

久山療育園は10年ごとに、そ
 の足跡を辿り感謝を新たにす
 ると同時に課題を尋ね、次の10年
 に備えるために「共に生きる」
 という記念誌を刊行しておら
 れますが、その10周年記念誌第
 一章は「久山療育園が出来るま
 で」と、その経緯が33頁にわた
 り述べられています。

久山療育園設立と支援に至る
 運動は障害児を身近に抱える三

人の牧師たち(叶、川野、宮本
 師)の切実な思いと祈りから始
 まりました。1967年9月に
 互いの窮状を分かちあい、打破
 する道を相談した三人は、早く
 も12月に「愛の手を」第一号を
 5千部印刷、全国のバプテスト
 教会だけでなく他派の教会や学
 校関係にも発送、祈りと協力を
 呼び掛け、「愛の手を」第二号
 には総額1,500万円の当初
 計画が図面付きで発表されてい
 ます。69年11月に「心身障害児
 のための施設『コロー』建設
 を助ける友の会」が結成されて
 会員募集や各地での募金活動も
 みられるようになりますが、運
 動が大きく広がり、療育園建設
 が現実味を帯びてきたのは、熊
 本県荒尾市の土地6千坪を廉価
 で入手、コロー建設予定地と
 して第1回ワークキャンプがそ
 こで開かれた1971年頃だっ
 たでしょうか。諸般の事情から
 同地での建設は見送られ、現在
 地に待望の療育園が建てられ
 ることになりましたが、それはま
 さに奇跡的とも言える体験でし
 た。ここでその詳細をお伝え出
 来ないのは残念ですが、社会福

祉法人格の取得や療育園建設
 のための公的補助の申請、園で
 の働き人の募集等々、素人集団
 が綱渡りをするような日々を過
 ごしました。口角泡を飛ばしな
 がら徹夜で議論し、祈った日々
 を懐かしく思い出します。「若
 かった」とも思いますが、『ミッ
 ト・レーベン(共に生きる)』は
 誰の発案でしたか、街頭募金の
 旗竿にはためき、シャツにプリ
 ントされ、合言葉のように語ら
 れてきたこの言葉が私たちを療
 育園建設、更にはそれを支える
 運動に駆り立てたことも確かだ
 す。ヤスクニや安保問題も含め
 て、私たちの「隣人性」や「歴
 史性」を厳しく問う声に触発さ
 れた一面もあったと思います。が、
 「共に生きる」とは自分を起点に
 ではなく、何処までも相手の目
 と心で回りを観ることであり、
 自分を変えていく作業です」と
 言う川野先生の言葉(10周年記
 念誌「共に生きる」所載)をわ
 たしは今、心に刻みながら、こ
 の運動に参加させていただけた
 ことを生涯の宝と思い、心から
 感謝しています。

理念と展望

「キリストの福音を土台として」

「現場で聖書に学ぶ」

理事長 宮崎信義

はじめに

2021年5月28日に第4回火曜集会運営牧師会議が開催されました。久山療育園が45年前の創立時に示された運営基本方針にも「キリストの福音を土台として」設立されたことが明示されています。現場で聖書を学ぶことが火曜集会という形で継続されてきました。学校や事業体でも「建学の精神」や「創立理念」には、忘れてはならない羅針盤のような役割があります。久山療育園もここから始まり、そして未来への展望へと目が開かれるところです。今号では、改めて火曜集会が果たしてきた役割と意義について考えてみたいと思います。

火曜集会の意義と運営について

私たちの姿勢は、運営基本方針で「重症心身障害児(者)と共に生きる(生かされている)」という聖書の間観に立たさ

の中で創造されたと理解致します。それは、障がいのある無に妨げられず、私たちと同じ神の祝福の下にある平等の存在としてあることを受容するものです(マタイによる福音書25章40節)。ですから、新任職員のアリエンテーションでも火曜集会への参加を呼び掛けています。先ず、「現場で聖書に聴く」ことの意義を覚えて頂きたいからです。聖書を理解することは、久山で働くことにつながります。従って、新しく久山で働こうとする人には是非現場で聖書に接することを勧めたいのです。

人間存在の意味

人間存在にはすべて意味が与えられています。無意味な人は地上にただの一人も存在しないのです。私たちは時として、生まれつきの障害にはどのような意味があるのかと問います。現在の障害者

総数…は964.7万人(人口の約7.6%)と言われています。重症児の存在は約4万3000人、施設に入所している方はその約1/3、在宅者は2/3と言われています。聖書(ヨハネによる福音書9章1〜7節)では、障害児がこの世に生まれてきたのは決して親の責任でも本人の責任でもない、まして先祖の責任でもないと言っています。

ミットレーベン

神様は、障がい者を何故この世に送り給うたのでしょうか?このテーマは世界的に古く、また新しい問いでもあります。経験された人たちの中には、次のように言われる方がおられます。一定の比率で必ず生まれる障害児は、「冷たい暗いこの世にある私たちに、真の人間の心と呼び戻し、愛の光をともし天使的存在」として遣わされたのではないかと。それ故に、この子らに世の光を、ではなく、「この子らを世の光に」と主張した糸賀一雄氏の思想に共感させられます。ミットレーベンすなわち「共に生きる」という、創立前からの私たちの合言葉は、その

ような内容をもつものだと思います。

おわりに

糸賀先生は、講演の途上で倒れられました。私はこの言葉も途上であって、「この子ら」と言いつつも、必死に支え抱えあげている人間の苦悩と努力が感ぜられます。しかし、抱えている人間が中心ではなく、その先には「この子らが世の光」であり主体となる世界があると示されています(岡山孝太郎牧師「キリスト教社会福祉の原点に堅くたつて」)。

人間には、「障がい」や「病い」と向き合ってきた長い歴史があります。その歴史観から「弱さ」や「障がい」は、「強さ」や「効率優先」が行き過ぎることを戒めてくれたことが教えられています。久山療育園も創立後45年を導かれました。そして今は新型コロナウイルス感染症に対峙しています。「命の大切さ」や「絆の在り方」について、真剣な問いかけが続いています。再び、ご家族や地域との交わりが回復することを祈り信じています。



病気のからだから
第8回

こどもと違う

おとなの食物アレルギー

センター長/理事 岩 永 知 秋

■はじめに

アレルギーとは、私たちの体が備えている免疫の仕組みが、過剰に働いて起こる現象です。免疫は本来、身体の中に外から異物が入ってきたときに、私たちの体がこれを適切に処理することにより、無害にしたり体の外に出したりする働きです。いわばからだの自衛隊で専守防衛がもともとの働きなのです。ところがこの免疫が働きすぎると、かえってからだにとって害になることがあります。その一つがアレルギーです。近年、アレルギーによる病気が増えてきています。なぜでしょうか？

衛生環境がきれいになるとともに、アレルギーが増えるという理論があります。「衛生仮説」と呼ばれます。まわりの環境に細菌が多い、つまり衛生的にきれいでない環境で育つとアレルギーになることは少なく、一方清潔な環境で育つとアレルギーが増えるのではないか、という説です。これはからだの中の免疫が、細菌をやっつける方向にシフトす

ると、アレルギーは起きにくくなることを意味します。確かに昔からすれば、どの国も衛生環境は良くなってきました。

■食物(じよくもつ)アレルギーとは

「飽食の時代」といわれる現代ですが、食物はその量とともに種類も豊富になっていきました。最近のトピックスの一つは食物アレルギーです。ものの豊かな社会になるとともに、食物の種類も爆発的に増えてきたので、アレルギーに関しても以前より注意を払う必要が出てきました。

食物アレルギーは、食物がアレルギーのもと(アレルゲン)といえます)になるものです。その人の年齢によって様相がかなり異なります。乳児期、幼児期、そしておとなと分けると、その特徴は大きく違うのです。乳児期はほとんど卵、牛乳・乳製品、コムギが3大原因食品です。1歳未満の乳児期にはこの3つで、なんと原因食品の約90%

を占めます。しかし成長するとともに免疫の状態が変わることにより、これらのアレルギーはかなりの人で自然に弱まります。つまり、1歳以上の幼児に成長するにつれて、からだが受け入れるようになることを意味しています。3歳になるころには50%、6歳までには80~90%の人が食べても大丈夫になるといわれています。

■おとなの食物アレルギーは違う！その1

おとなの食物アレルギーの原因はずいぶん違ってきます。もちろん、子どもの頃のアレルギーがそのまま続く人もいますが、おとなになって初めて発病する食物アレルギーも、決してまれではありません。国立病院機構相模原病院からの報告によれば、おとなの食物アレルギーのうち34%と最も多いのは果物・野菜なのです。これにはリンゴ、サクランボ、大豆、メロンなどが挙げられています。第2位はコムギで11%であり、次いでエビ・カニなどの甲殻類、スパイス、ナッツ、アニサキスなどが原因として挙げられています。



■おとなの食物アレルギーは違う！その2

子どもと違うのは原因だけでしょうか？実は、おとなの食物アレルギーは、子どもたちに見られるような食物アレルギーと比べて、少し特殊な形をとることが多いとされています。それはなぜでしょうか？まだわかっていないところも多いのですが、おとなではアレルギーの成立する過程が子どもと異なることが指摘されています。ふつう、食物がアレルギーを起こすことから想像すれば、原因となる食物が胃腸から吸収されて血液に入り、アレルギーが成立する(これを感作といいます)ものと

考えますよね。つまり、食べることによって感作が起こるのです。ところがおとなでは、食べる以外の別の仕組みが存在するのです。胃腸からではなく、気管支や鼻の粘膜(花粉など)、あるいは皮膚から(石鹸、化粧品など)アレルゲンが侵入して、感作が起こることがあるのです。感作が起こった後はその食べ物を食べると、アレルギー症状が出るのです。また食物以外のアレルゲンに、食物内に含まれるのと同じ成分があつて、そのためこの二つに感作されることがあります(これを交差反応と呼びます)。その代表が、「花粉果物アレルギー-症候群」と呼ばれるものです。

■花粉症と果物のふしぎな関係

一部の花粉症の患者さんでは、果物や野菜にアレルギーを示す人がいます。これは果物や野菜の中に、花粉の成分とよく似た成分(アレルゲンコンポーネント)があるため、花粉と交差反応を示すのです。たとえば、北海道や北欧などで寒い地方にはスギがないのでスギ花粉症はないのですが、寒い地方に育つ植物のシラカバやハンノキの花粉が花粉症を誘発します。これらは、バラ科の植物に属するリンゴや

モモ、サクランボ、ナシ、イチゴ、ウメ、また大豆、ニンジン、セロリなどと共通する成分が含まれています。そのほか、秋に多いブタクサ花粉症では、ウリ類のスイカ、メロン、キュウリでアレルギーを起こす人がいます。日本の花粉症の代表であるスギやヒノキの花粉症では、トマトの成分と共通する部分があり、この花粉症の一部の人ではトマトを食べるとアレルギー症状が出る場合があります。この花粉症と果物(主として)の関係は、「花粉果物アレルギー症候群」と呼びます。

症状の出方も子どもたちと少し異なります。原因となる果物、野菜を食べると唇がはれたり、のどがかゆくなったりします。これは「口腔アレルギー症候群」と呼ばれることもあります。もちろんひどい場合は、アナフィラキシーショックなどの全身症状を起こすこともあるのですが、多くは口の周りや口の中の症状で、唇や口の中、のど、耳の奥のかゆみ、ピリピリ感やチカチカという異常感覚が出現し、また唇や口の中に軽いむくみを伴うこともあります。なぜ口の症状だけなのでしょう。それは一つには、これらのアレルギーが消化酵素に弱いので、胃腸では中和されてしま

い、症状は口の内外にとどまるのです。また、加熱によりアレルギーの成分が壊されるので、加熱すると食べられるようになります。果物としてはリンゴ、メロンがこのアレルギーを起こしやすいとされます。ただし、リンゴも、リンゴジュースやリンゴジャムは製造過程で加熱処理されるので、アレルギーの構造が変わり、アレルギーが起らないこともあります。

■そのほかのおとなの食物アレルギーにも特徴的なものがある！

1)食物依存性運動誘発アナフィラキシー

小麦(パンやうどんなど)、甲殻類(エビ、カニなど)を食べた直後(2時間以内)に運動を行うと、アレルギー症状をおこすもので、ひどいとショックなどのアナフィラキシーと呼ばれる全身症状を起こすことがあります。

2)ラテックス・フルーツ症候群

バナナ、キウイ、アボカド、クリなどはラテックス、つまりゴムと共通するアレルギーとなり得ます。ゴム手袋でかぶれる人は、これらの果物でアレルギーを起こす人がいます。

■おまけ：PCRこぼれ嗽
今回の新型コロナウイルス

感染症の診断では、PCR(ポリメラーゼ連鎖反応)という検査法が有名になりました。痰や鼻、のどから採取したウイルスの遺伝子を増幅して検出する方法ですね。この原理を発見したのは米国のマリス博士という人です。ホンダシビツクを運転して恋人とデート中に閃いたのがこのPCRというアイデアで、車を止めてメモに化学式を書き留めたそうです。彼は恋人に向かつてこう叫びました。「君には信じられないだろうが、こいつはとんでもない発見だぜ」。彼はやや変人・奇人に属する人物で、1993年にノーベル化学賞を受賞しましたが、受賞が決まった時海辺でサーフィンを興じていたため、「サーファーにノーベル賞」と騒がれたことを覚えています。ノーベル賞をもらう前年、日本国際賞を受賞しましたが、その祝贺パーティでの皇后陛下とのやり取りが秀逸でした。「今日ご一緒の方がその方ですね。」と尋ねられたマリス博士は、「いえ、別の人です。」と答えました。すると、皇后陛下はすかさず「それではもう一つ大発見ができますね。」とおっしゃったそうです。

役員人事報告

5月14日(金)に、「第3回評議員選任・解任委員会」が開催され、次期評議員として下記の13名の方々が選任されました。

評議員(敬称略)

金丸真、安藤榮二、牟田逸雄、城前和徳、福田賢輔、林晃一、坂口繁和、森英行、才藤千津子、水野英尚、田川大介、相模裕一、宮田祐亮

任期は2021年6月18日から、以降4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終了の時(2025年6月)までとなります。

続く6月18日(金)、第1回(定時)評議員会が開催され、下記の理事9名、監事3名の方々が選任されました。

理事(敬称略)

宮崎信義、岩永知秋、踊一郎、志満秀武、伊原幹治、叶義文、中村晴光、渡辺浩行、吉本法生 (9名)

監事(敬称略)

樋口重登、柴田公文、堤秀幸

理事長

続く6月21日(月)開催の第2回理事会で、宮崎信義理事長が選任(再任)されました。感謝と共にご報告申し上げます。

(法人事務局担当課長 馬原哲治)



対面形式では2019年11月8日以来の開催となった評議員会の模様

2021年5月28日第1回理事会承認
2021年6月18日第1回評議員会承認

2020年度 決算概要

2020年度はコロナウイルス感染拡大に伴い、2020年4月に東京、大阪、福岡等の7都府県に緊急事態宣言が出る中でのスタートとなり、短期入所事業や通所事業などに様々な制約の中で感染症対策に力を注ぐ1年となった。

また将来の安定的な事業継続の為、「社会福祉充実計画」に基づき、昨年度より進めていた園内システム全般の更改、電子カルテシステムの導入を行い、次期医療介護支援システムの運用を開始した。

資金収入全体では、対計画比98%、支出は人件費、事業費、事務費総額では対計画比98%となり予算内で推移した。

事業活動から見た全体収益では、前年度対比98%、費用は減価償却費等も加えて前年度対比102%となった。

(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日 (単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	3,582,000	3,643,271	61,271
		障害福祉サービス等事業収入	524,875,000	475,431,258	△ 49,443,742
		医療事業収入	782,150,000	800,747,836	18,597,836
		経常経費寄附金収入	20,550,000	18,711,763	△ 1,838,237
		受取利息配当金収入	1,002,000	1,614,720	612,720
		その他の収入	6,608,000	10,121,836	3,513,836
	事業活動収入計 (1)		1,338,767,000	1,310,270,684	△ 28,496,316
	支出	人件費支出	1,051,000,000	1,034,385,142	△ 16,614,858
		事業費支出	162,519,000	159,849,874	△ 2,669,126
		事務費支出	108,648,000	94,549,517	△ 14,098,483
事業活動支出計 (2)		1,322,167,000	1,288,784,533	△ 33,382,467	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		16,600,000	21,486,151	4,886,151	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	5,959,800	5,959,800
		固定資産売却収入	0	133,103,940	133,103,940
		施設整備等収入計 (4)	0	139,063,740	139,063,740
	支出	固定資産取得支出	288,600,000	277,734,400	△ 10,865,600
		施設整備等支出計 (5)	288,600,000	277,734,400	△ 10,865,600
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 288,600,000	△ 138,670,660	149,929,340	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	272,000,000	122,100,000	△ 149,900,000
		その他の活動による収入	0	712,562	712,562
		その他の活動収入計 (7)	272,000,000	122,812,562	△ 149,187,438
	支出	長期貸付金支出	0	105,000	105,000
		積立資産支出	0	1,838,802	1,838,802
		その他の活動による支出	0	5,000	5,000
		その他の活動支出計 (8)	0	1,948,802	1,948,802
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		272,000,000	120,863,760	△ 151,136,240
予備費支出 (10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	3,679,251	3,679,251	

前期末支払資金残高 (12)	427,133,542	427,133,542	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)	427,133,542	430,812,793	3,679,251

「令和3年度全国施設協議会報告」 (Zoom会議)

理事長 宮崎 信義

はじめに

2019年11月に新型コロナウイルス感染症が中国武漢市を中心に発生したことに始まり、感染性や病原性(感染者数と重症化(致死率)から次第に容易な状況ではないと多くの人が考えるようになりました。それから3年間にわたってパンデミック(世界的蔓延)は続き、日本でも4月から第4波と発表され、しかも変異株の感染力や病原性が強いことに注視する必要があります。

久山療育園でも重症心身障害児(者)やご家族、ボランティア、地域の皆様、そして職員の生命が守られるように感染対策に最大限の努力を払っています。この間、行動が制限され、人と人との交わりが制約されてきました。また、重症心身障害施設にとつて大切な協議会や学会・研究会も、中止ないしはオンライン会議となつています。毎年、機関紙「愛の手を」のこの時期の特集として、全国重症心身障害施設協議会についてご報告させて頂いていますが、昨年は中止、そして今年も令和3年5月20(21)日にオンライン開催(ZOOM使用)となりました。

行政説明 「障害児支援施策の動向」

今年も厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部・障害福祉課障害児・発達障害者支援室から、「障がい統計」や「障害児支援施策」について説明がありました。

障害者の数(平成28～30年の調査)は、障害者総数964.7万人(人口の約7.6%)、そのうち身体障害者は436.0万人、知的障害者は109.4万人、精神障害者は419.3万人と示されました。障害者全体は増加傾向にあり、また、在宅・通所の障害者は増加傾向となつておりと指摘されました。

障害福祉サービス等報酬及び改定については、令和3年度改定として、障害者の重

化・高度化に対応すべく、改定率は+0.56%と増額されました。主な対象は「医療的ケア児の支援の充実について」とされ、医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃瘻等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童の支援を強化することです。重症児が約70%を占め

る全国の医療的ケア児は約2万人と推定されています。また地域支援機能については、短期入所を活用した支援として基本報酬改定がなされ、医療型短期入所(I)は2,907単位から3,010単位に増額されています。その他の重点施策として、「通所支援の活用」、「ソーシャルワーカーの配置」について説明されました。

特別講演「令和3年度をどう進むか」新型コロナウイルスとサービスクラス 報酬改定を受けて」
日本重症心身障害福祉協会理事長の児玉和夫氏(堺市立重症心身障害児(者)支援センターベルデさかいセンター長)から、令和3年度の注目すべき事項について以下のように特別講演がなされました。

①新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中で…現在、日本全体が新型コロナウイルス感染症の影響下にあります。当協会に所属している重症心身障害施設も複数の施設で大きなクラスター感染を経験していますが、小規模な感染は多くの施設で発生しています。今後の見通しもスタッフへの2回のワクチン接種がまだ完了していない施設の方が多いのが現状です。

②令和4年度の診療報酬改定にむけて…障害者施設等入院基本料と療養病棟、特殊疾患病棟などの関係を考える。令和4年4月には診療報酬改定があります。当協会からの要望はまだこれから検討していくところです。

③ICT(情報通信技術)の活用…ICTの活用は、現在の新型コロナウイルス禍の中で大いに活用されていますが、今後は個別支援計画のご家族との協議で、施設に来られない方や遠方の方と

2. 施設種別ごとの課題と今後の方向性 (2) 医療型入所施設

1) 発達支援機能

① 福祉的支援の強化
状態安定のための医療的支援とともに、成長・発達のための福祉的支援の強化が必要である。福祉的支援強化のためには、職員間における重度の障害児における発達支援の意義や重要性についての共通した認識を持つことが重要である。発達支援の担い手である保育士等の配置を促進すべきである。

② 強度行動障害児等への対応
医療型においても、強度行動障害など常時見守りが必要な児童がいるため、対応困難事例に対する更なる支援を図る必要がある。

③ 医療的ケア児への対応
厚生労働科学研究において実施中の医療的ケア児の判定基準の研究結果も踏まえ、重症心身障害児以外の医療的ケア児に対する更なる支援を図る必要がある。医療的ケア児の状態の多様性を鑑み、障害児施策だけではなく子どもの状態に応じて適切な支援が行われる必要がある。

④ 教育と福祉の切れ目のない連携
子どもの一生涯を見据え、子どもの状態に応じて教育の強化を図ることが必要である。通学できる入所児童には出来るだけ通学出来るような環境を整備する必要がある。就学前の利用機関との連携等により、就学前から入所児童と地域の児童との交流の機会を増やしていくべきである。

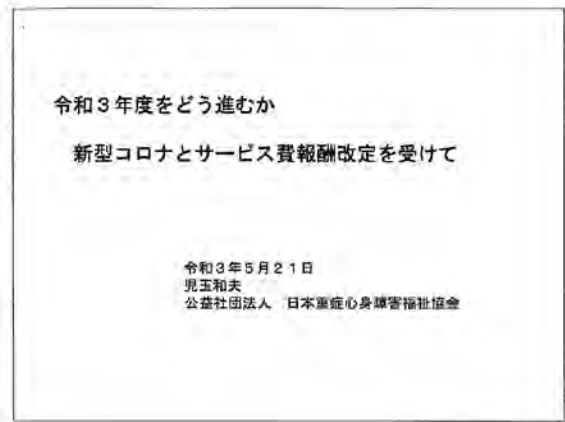
⑤ 家庭的な養育環境の推進
ユニット化等により小規模化に取り組む施設に対する更なる支援を図り、ケア単位の小規模化を推進すべきである。外泊や面会を通じた家族とのふれ合いの機会を確保するための支援が必要である。

の協議や説明で地域生活を送る、医療的ケアを必要とする方への、処置や指示の確認に有益です。

④虐待と身体拘束については、新しい観点から見直される必要があり、身体的虐待はもちろんです。心理的虐待も重要になつてきています。今の処遇が果たして障害福祉サービスにおける意思決定支援ガイドラインを踏まえたものになっているのか、もしそうでないなら、今の処遇そのものが虐待とみなされるかもしれない。

⑤医療的ケア児についての整理…「医療的ケア児の定義」は、もともとは重症心身障害児ではないが、人工呼吸器などを必要とする児の存在とその児たちが重症心身障害児でないため、様々な支援が受けられないことに対する改善要望から出てきた用語で、重症心身障害児も含めて考える場合と重症心身障害児ではない医療的ケアを必要とする児を指す場合があります。⑥重症心身障害施設がなくなることはありません。在宅・地域ケアの時代になつてきました。それが持続できなくなつた時の受け皿として常に重症心身障害施設は必要とされると同時に、地域支援の拠点としても常

に柱の役割が期待されます。



シンポジウム『コロナ禍の経験と踏まえた重症心身障害児・者への支援の継続について』

「新型コロナウイルス」最近の知見」について、大毛宏喜氏（広島大学感染症科教授）から基調講演がなされました。その要点は、①新型コロナウイルスについて…感染経路はヒトからヒトへの感染が9割、環境に付着したウイルスでの感染は1割です。ヒトからヒトへの伝播経路は、飛沫が直接口や鼻に入ること。換気不良の空間で浮遊するウイルスが入るのでマスクや換気が有効です。②新型コロナウイルス感染症対

策…対策の修正点は空気清浄機より換気、アクリル板やビニールカーテンはマスクが着用できない場合で補助的に用いる。拭き掃除に過度な時間をかけない。ソーシャルディスタンスについては、お互いにマスクを着用している場面では距離に過敏になる必要はない。新型コロナウイルス感染症での清拭方法として、高頻度接触面や物品の消毒は0.05%次亜塩素酸ナトリウム、もしくはアルコール(70〜80%)、新型コロナウイルス感染症の患者もしくは疑わしい患者が使用したトイレは0.1%次亜塩素酸ナトリウ

ムによる清拭が有効です。また広島大学病院における研究では、感染症対策における紫外線の効果が注目されています。通常の多剤耐性菌による環境汚染には5分間の照射でも著効を示した。新型コロナウイルスへの効果は1mの間隔、5分間の照射で99.994%が不活化しました。人体への安全な波長(222nm)でも有効で、30秒間の照射でも新型コロナウイルスは99.7%が不活化しました。

医療問題検討委員会報告

①診療報酬関係…○次期(令和4年)診療報酬改定へ向けて、「障害者施設等入院基本料」につきどのような変更・改定がなされるかが最も重要な課題だが、中医協「入院医療等の調査・評価分科会」の最近の議題・資料からは、現時点で具体的な検討は行われていない。検討内容を逐次モニターしながら、状況に応じて対応が必要。要望を出す場合には「障害者施設等入院基本料」の特性を踏まえ、慎重に行うことが必要です。○超重症・準超重症児者の入所施設での諸経費の積算で1日約43000円を要するといふ数字を、各種の要望の基礎としてきました。

②医療型短期入所についての共同での要望書作成と提出…○医療型短期入所サービス拡充のための検討会議に参加し、問題点や要望事項・資料を検討し、詳細な補足資料を入れた要望書を作成しました。○この要望書の内容の整理、簡潔化、追加を行ったものを、障害者福祉サービス等報酬改定検討チームのヒアリングへの本協会からの意見・資料として提出し、令和2年8月7日のヒアリングで児玉理事長から意見陳述が行われました。

③令和3年度障害福祉サービス等報酬改定内容…○医療型短期入所については、基本報酬と特別重度支援加算のプラス改定、「運動機能が坐位まで」という特別重度支援加算の条件の撤廃、日中活動支援加算の新設がなされました。

おわりに

2年ぶりの全国重症心身障害施設協議会でしたが、重症心身障害児(者)の医療・福祉に重要な影響と方向性が示された施策や協議でした。その一方で、最後まで新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、地域の皆様の健康をお祈り致します。

第51回福岡県重症心身障害施設協議会報告

センター長 岩 永 知 秋

これまで年2回開催されてきた福岡県重症心身障害施設協議会も、昨年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、2回とも中止となりました。本協議会は福岡県の重症心身障害児者施設、今回は12施設(国立病院機構3病院、公法人立施設9施設)および福岡県福祉労働部障がい福祉課の参加を得て、意見・情報交換などを行う貴重な機会です。6月20日まで福岡県下は緊急事態宣言下であり、コロナ禍でのWEB会議が普及してきたことから、今年度はオンライン会議の形式で2021年6月10日木曜日午後2時から2時間余り、久山療育園の当番施設ということで開催しました。

協議会メンバーに加わりましたので、ご挨拶をいただきました。また、福岡県障がい福祉課からは森係長、山本主任主事のご参加をいただきました。

協議会では当園宮崎理事長から、5月20、21日の2日間にわたって行われた全国重症心身障害施設協議会の内容が、詳細に報告されました。特に障害者数の増加傾向、障害福祉サービス等報酬改定などについて説明されました。その後久山療育園でのCOVID-19対策の紹介をし、感染対策レベル分類、感染対策委員会、およびコロナウイルスワクチン職員接種、職員コロナウイルスPCR検査、センター財政への影響などを報告しました。国立病院機構の状況に関して福岡病院から報告がありました。通所、外来、短期入所、保護者面会などは長く中止しているとのことでした。

福岡県は5月12日から3回目の緊急事態措置下におかれているため、対面形式で開くことができなかったのは残念ですが、ともかくも各施設との交流、意見交換を図ることができたのはよかったですと思います。

なお、今回から福岡県こども療育センター新光園(重症心身障害医療を開始)が、新たに

短期入所事業を行う事業所の拡充を図っているとのことでした。

その後各施設から施設の人

事異動の紹介、COVID-19対策、そのほかの取組み、利用者状況などが報告されました。主題はコロナ対策であり、面会、短期入所などの工夫、感染対策委員会における対策レベルの設定、職員のPCR検査、ワクチン接種の進み具合などが報告されました。どの施設も細心の注意を払って、感染防御に努めておられる様子がわかりました。それぞれ内容が盛りだくさんであったため、多少時間が押してしまいました。協議会施設同士の情報交換として大変有意義なものであったと思います。最後に、当園の吉本看護部長から専門看護師研修について、認定の可否、第7期の募集などが報告されました。

次回は今後12月2日(木)午後2時からの開催となりました。この年末にCOVID-19流行がどのようになっているか不明であり、最悪の場合今回と同様にオンライン会議になる可能性もあることから、次回

も久山療育園が当番施設をお引き受けすることになりました。

久しぶりの協議会でしたが、専門施設同士で情報と意見の交換の場が得られ、改めて貴重な協議会であると認識しました。最後に、今回のオンライン会議のセッティング、運営に尽力してもらったSEの福原さんに深謝いたします。



メモ帳

- 【4月】▽1日～2日 新人オリエンテーション▽2日 新人消火訓練▽5日～9日 通所始園式
- ▽6日 福岡特別支援学校始業式▽9日 イースター行事
- ▽16日 保護者会役員懇談会
- ▽20日～ 新型コロナウイルスワクチン接種開始▽23日 誕生会
- 【5月】▽6日 新人オリエンテーション▽7日 胃がん検診
- ▽14日 評議員選任・解任委員会
- ▽20日 全国重症児福祉協会定時総会(Zoom)▽21日 全国重症児福祉協会全国施設協議会(Zoom)・誕生会▽25日 婦人科検診▽28日 第1回理事会
- 【6月】▽10日 県重症心身障害施設協議会(Zoom)▽16日 職員健康診断▽18日 2021年度 第1回評議員会
- ▽21日 第2回理事会▽25日 誕生会・保護者役員懇談会

職員の異動

- (2021/4/2～6/30)
- 【採用】
- ▽喜多純子(保育補助) 5/1付
- 【退職】
- ▽中村美保(保育補助) 4/30付
 - ▽正木明美(療育員) 5/31付

リハビリテーション室 絵画コンクール



リハビリテーション室のご紹介をしたいと思います。リハ室では6月は、「絵画コンクール」を開催していました。リハビリの時間に、絵本の「しろくまのパンツ」をモチーフに絵本を読んで、みんな思い思いの「パンツ」や「しろくまくん」を制作しました。その作品がリハ室のかべいっぱい展示してあります。そしてその大賞を決める投票が現在行われています。

絵本をI Padのスイッチ操作でめくり、読んで、そしてクレパスや絵の具、ステンシル、思いもよらない野菜スタンプなど個性あふれる道具とその制作方法で楽しみました。どの作品も力作ばかり、誰が大賞に選ばれてもおかしくない立派な出来栄です。そして何より、完成した作品を誇らしげにみる皆さんの表情に達成感を感じました。このコロナ感染拡大の影響で、なかなかみんなに会える機会が減っているけど、一つのことをみんなでやることができ、この絵画コンクールに参加することで、みんなの存在をまた近くに感じることができました。今後もリハ室では「入所」「外来」で楽しい活動を企画していきたいと思っています。お楽しみに。

(リハビリテーション課 課長 荒金 幸)

ひかり棟より

1年間よろしくねー!

4月から、新しいメンバーでコミュニケーションサークル活動が始まりました。Lチームメンバーの活動の1コマを紹介したいと思います。

天気の良い4月5月は活動前に体操をして、外に隠されている物を探しに行きます。自分で歩ける方は歩いて、車いすで移動する方は周りをしっかり見ながら探し物をします。探し出した物は自分で持ってお部屋に入ります。

お部屋に入ったらもう一仕事です。見つけたものを使って制作します。それぞれ自分の座りやすい姿勢で作ります。握ったり、貼ったり、色を決めたり：素敵な掲示板や夏祭りに向けての作品ができました。これからも体を動かしたり、色々なものに触ったり、好きなものを見つけたり、沢山の事に挑戦して楽しく活動しましょうね。

(ひかり棟保育士 島津静香)



はい、チーズ



おみせやさんへようこそ

コミュニケーションサークルFチームではおみせやさんを開店しています。

メンバーは、商売上手なオーナーと頑張り屋の店長さん、ちよっぴりおちゃめな看板娘の3名です。お店屋さんの名前は「Kirakira」、みんなで考えて決めました! Kirakiraは毎月たくさんの方の依頼を引き受けで大忙しです。

5月は夏祭りに向けて、ヨーヨーを製作しました! 不思議な和紙を画用紙に貼り、筆を使って水を付けます。すると絵の具のように色が広がり、綺麗なヨーヨーの出来上がりです。

お店の店長さんは、貼り付ける色を選んだり、場所を決めたりといつも一生懸命にお仕事を頑張っています。上手に出来上がったヨーヨーを見て大満足の表情です。

毎月のコミュニケーションサークルでは利用者さんの色々な表情を発見できます。面白いことがあったらみんなですら笑ったり、何かを作るときは考えたり、身体全身を使ったり…。利用者さんの意外な一面に驚かされる毎日です。

今日も、お店「Kirakira」では、いつもキラキラの笑顔で、お客さんのことをお待ちしております!

(ひかり棟保育士 山下莉奈)



図書の日、はじめました!

今年度より、ひかり棟では「図書の日」を作りしました。

「図書の日」とはその名の通り、本を読む日のことです。

みなさん自分だけの図書カードを作り、たくさん絵本を読んでいます!

外気浴をしながら読んだり、座位訓練をしながら読んだり:

12月までで一番本を読んだ方には、「クリスマスで好きな絵本を選べる券」を贈呈! ランキングも提示しているのので、ライバルの冊数を見て「負けないぞ!」と意気込む方もいれば、「マイペースにゆっくりと本を読んでいく方など、みなさん自分流の読書LIFEを楽しんでいます♪

(ひかり棟保育士 佐藤有似子)



めぐみ棟より

イースター

年度初めの行事と言えば・・・そう、イースターです！厳かな礼拝の雰囲気から一変して、会の後半は今年新しく仲間になった新入職員の皆さんが、ウサギの耳をつけてピョンピョン飛び跳ねながら登場し、イースターの会を盛り上げてくれました。

最後は毎年恒例のたまご探しに、お庭の方へ新入職員の皆さんとも一緒に出掛けました。ソーシャルディスタンスを意識して、今回はひかり棟とめぐみ棟が接することがないようお庭の真ん中に空間を残し、その片方ずつをそれぞれが探す、という方法をとりました。4月と言えど陽の光が眩しく、風もとても強い日でした。風に煽られたたまごは元の場所から離れてしまっているものも多く、利用者や職員は本当に宝探しをするように、必死になつてたまごを探しました。最後の一つを見つけてくださったペアには拍手喝采！人と人との間隔を考えながらの行事が当たり前になりつつありますが、楽しみ方を工夫してこの一年もたくさん行事や活動で盛り上がっていきたいですね！

(めぐみ棟保育士 河野敦美)



大きくなーれ！！

蒸し蒸しと暑い日が続き戸外に出にくくなる季節がやってきましたね。めぐみ棟の利用者さん達は戸外に出て外気浴や散歩が好きな方が多いです。

戸外に出ることによって表情も穏やかになり、リラックスして風の心地よさや太陽のまぶしさ・暖かさ・自然とのふれあいなどを感じたりでき居室では感じられにくい体験です。

そこで夏に向けてめぐみ棟横のテラスのところにプランターでミニトマトと大葉を植えました。外に出にくい時期ですが、ミニトマトと大葉の成長を見に少しだけの散歩がたくさんできたらいいなと思いはじめました。



散歩の際、野菜たちの水やりをしたり、声掛けをしてもらっているおかげでミニトマトにかわいい実ができてきてすすくと成長しています！！

大葉も葉っぱが増えてきて利用者さんと一緒に葉っぱの感触やにおいなど探りたての野菜を感じる事ができ楽しんでます。

これからどんどん暑くなってくると思いますが、少しの間だけ夏野菜たちがどんな風に成長するかを利用者さんたちと一緒に育て見守りたいと思います☆

(めぐみ棟保育士 田崎加奈子)

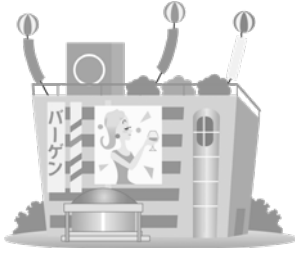


通所で頑張っています

HISAYAMA MITSUKOSHIへ ようこそ!

4月、通所オリジナルのデパート「HISAYAMA MITSUKOSHI」が1週間限定でオープンしました。オープン時間になるとネコバス入り口付近には、ショッピング招待券を手にした利用者さんの姿が・・・心待ちにしていたかのような笑顔の利用者さんが長蛇の列をなしていました。入り口で「HISAYAMA MITSUKOSHI」の招待券と買い物券を交換して、いざ、ショッピング開始! 買い物カゴを手に取り、お菓子・雑貨・やさいと果物・生花の4つのコーナーに向かっていきました。豊富な品ぞろえの商品を一つ一つ手に取り、何が欲しいか、じっくり時間いっぱいショッピングを楽しんでいました。会計を済ませると、欲しい商品をゲットできて嬉しそうな表情の利用者さんが多くいらっしゃいました。外出しての社会参加が難しいこの頃。今行った園内ショッピングの機会を経て、今の期間ならではの療育活動を今後も幅広く企画していきたいと思えます。

(通所介護福祉士 松元りか)



どれにしようかな・・・



お会計、お願いしまーす!



本日のおススメです☆

「運動会活動」

今年も運動会の時期に入り、計画を立てていきましたが、緊急事態宣言による自粛で運動会活動にも影響してきました。オリンピック開催が危ぶまれる中、通所も運動会活動として一週間取り組むことにしました。オリンピックにちなんで初回は聖火ランナー(部長)から聖火をつないでもらい、その火を月曜日から金曜日までつないでいくことにしました。手作りトーチも本物そっくり!! たくさんさんの声援をもらいました。スローガン「みんなで手を取り合おう」を掲げて、工夫を凝らした競技を行いました。その中でもゲームとして花紙を利用者さんと一緒に丸めて五輪に貼っていき、一週間かけて五輪シンボルマークを完成させました。まさにみんなを取り組み手を取り合ったゲームとなりました。しばらく廊下に展示しますので、ご覧になってみてくださいね。早く感染が終息し、みんなが活動出来る事を願っています。

(通所保育士 汐田美賀)



重症者ホームひさやまより

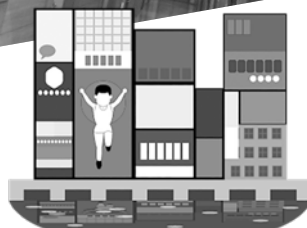
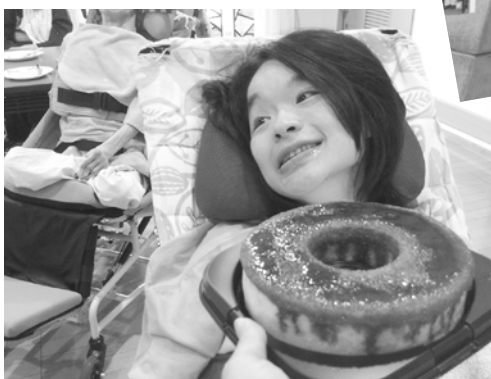
♪大阪グルメパーティー♪

重症者ホームの2021年度初の行事が、5月22日に行われました。企画をするにあたり、「いつもの食事会もいいけれど、最近お出かけできずにいる入居者の方に、せめてどこかに『行った』気分になれるようにはならないか?」との意見から、日本のご当地グルメを提供しよう!となりました。そして今回選ばれたのは、大阪!行ったら食べたいものを挙げればキリがありませんが、今回は「たこ焼」「お好み焼き」を準備し、デザートには「マダムシンコのバームクーヘン」をお取り寄せしました。

当日は朝からスタッフが下ごしらえをする一方、待ちきれない様子の入居者の方にはリビングの飾りつけをお願いしました。たこ焼とお好み焼きののれんのイラストや、事前にスタッフ同士で「大阪といえば?」と尋ねて出たシンボルの中から「グリコの看板」「食い倒れ人形」「新世界」、さらにド派手な「ヒョウ柄のオバちゃん」などの写真を貼り付ければ、すっかり大阪一色の空間へ!そして全員そろって始まった「大阪グルメパーティー」スタート!ただ開始前からたこ焼を焼いていたため、その匂いで皆さんのお腹の準備はしっかり出来ていたようで、とてもいい食べっぷりに焼くスタッフも気合が入ります。たこ焼にはチーズを入れたり、ソースでなくケチャップを選ばれたりする方もおられ、各々味付けも工夫されていました。デザートの時間になり、これまた派手なヒョウ柄の箱を開けるとカラメルのかかった美味しそうなバームクーヘンが!スタッフも食べたくなる気持ちをグッとこらえ、人数分にきちんと等分し提供すると、皆さんあっという間に召し上がっていました。

様々なことを我慢し、日々生活されている入居者の皆さんの笑顔や満足げな表情が見られ、スタッフ一同も嬉しく思えた一日でした。

(重症者ホーム介護福祉士 中村 心)





藤田 英彦

1. 5月31日の主日の早朝その日の説教を覚えて机に向かい椅子に座ろうとした時椅子が回って転倒してしまいました。当日は湿布をして説教をしました。翌日に痛みがひどくなり、娘に言われて八幡製鉄病院に行き診察を受けたと、圧迫骨折という診断が下り、即刻三か月の入院ということになりました。

入院後に激痛が起り、身動きが出来なくなりました。聖書を持って入院したので、痛みに耐えるのみで最初の三日間は聖書を読むことも祈ることも全く出来なくなりました。3日が過ぎて痛みが少し和らいだ時、聖書マタイのゲッセマネの箇所が思い出され、自分の信仰の無さを身にしみて覚えさせられました。ゲッセマネの園でペテロたちが眠り込んでいた時にイエスさまが「あなたがたはそんなにひとときもわたしと一緒に目をさましていることが出来

なかつたのか、誘惑に陥ちないように目を覚まして祈っていないさい。心は熱しているが肉体は弱いのである。」(マタイ26:40・41)といって、ご自分「わが父よ、もし出来ることでしたらどうかこの杯をわたしから過ぎ去らせて下さい。しかしわたしの思いのままにはなく、みこころのままになさして下さい。」(26:39)と祈られた箇所が浮かんできました。私の信仰の無さから聖書を読むことも祈ることも出来なくなってしまうという肉体の弱さを主イエスさまはとりなして下さることを感謝させられました。

2. 八幡製鉄病院への入院後は、その看護師さんや機能訓練士の方々からとても親切に介護をして頂きました。看護師さんの中には無くなっている八幡の銀星幼稚園の卒園生で、大沼玲子先生に大変お世話になり、後に折尾愛真学園を卒業したという方がおられました。

私が枕元に聖書を置いたことで話しかけて下さり、とても親切にしてもらったことは忘れられません。他にも子どもものいる方々もおられました。

私が「夜勤は大変ですね。」といった時、毅然として「看護師の使命です」と答えられました。

私は毎年夏に久山療育園で行われているミットレーベン・ネットワークのワークキャンプに子どもたちと一緒に参加していますが、そのことばから久山療育園の看護師さんや職員の皆さんが、入所しておられる重症心身障害児者の方々のために仕えておられる姿が思い出され、そのご苦労に感謝しました。

3. 「わたしたちは四方から艱難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。迫害にあつても見捨てられない。倒されても滅びない。いつもイエスの死をこの身に負っている。それはまたイエスのいのちがこの身に現れるためである。」(第二コリント4:8・10)

身動きが出来ないほどの苦しみを体験する中で、復活のイエスを信じている身の恵みが伝わり、喜びが病床において与えられたことは本当にうれしいことでした。(八幡製鉄病院の病床にて)

44年のあしあと



久山療育園、夏の一大イベントは海水浴。利用者、家族、職員全員で参加していました。津屋崎の「九電海の家」を借り皆で1日楽しく過ごした思い出です。海水浴前日に当日の海水浴が安全に行われるように、有志を募り遊泳区域を表すブイや、ロープを運び、一帯の清掃作業を行いました。

当日は現地への先発隊を組み、海の家にリネン類を敷き海水で冷えた体を温めるためお湯をため準備しました。利用者の移動は大型バスで移動です。身体が小さい利用者はバスの窓を使い降りしました。

ある年の海水浴では先発隊が現地を準備し、利用者が久山療育園を出発しようとしたときに大雨になり、誰もが海水浴は中止で利用者は大型バスでドライブだけだと思っていると、先発隊から電話で『なぜ利用者が到着しない』との問い合わせがあり確認すると、久山周辺は大雨、現地はカンカン照り、そんなこともありました。今のように携帯電話

(看護部長 吉本法生)



海とお陽さま
きれいだったよ

「愛の手を63号」掲載写真より

2021年度 久山療育園開園祭 (バザー、交流イベント、健康フェア等) 中止のお知らせ

昨年度に引き続き、本年度の開園祭も中止のお知らせです。

今年度は9月23日(秋分の日)に「第45回開園祭」を予定しておりましたが、まだまだコロナウイルス終息の状況に至っておらず、当施設をご利用されておられる重症児者の皆様とご家族、また来園されようとする方々の安全と健康を考慮し、6月28日の「開園祭実行委員会」におきまして中止することを決定致しました。たいへん残念な思いでございますが、何卒ご理解の程お願い申し上げますとともに、次年度こそはこれまで通りの楽しい開園祭の場でお会いできますこと、心より祈念しております。(なお、平素のお支えへの感謝をささげるため、ボランティア・勤続職員表彰をかねた礼拝を9月24日金曜日に実施致します。対象の方にはご案内を差し上げますので、よろしくご確認くださいませ。)

バプテスト、心身障害児(者)を守る会
理事 長 宮崎 信義
久山療育園重症児者医療療育センター
センター長 岩永 知秋

ミットレーベン・ネットワーク 8月のワークキャンプ 開催中止のお知らせ

今年になってもコロナの感染は勢いを弱めることなく、依然猛威を奮っています。そこで、誠に残念ではありますが、恒例のワークキャンプは今年度も中止することになりました。楽しみに待ってくださっていた人たちには誠に申し訳ないと思っています。そこで、できたら8月のどこかで、半日くらいで草刈りのワークキャンプをできないかと、考えています。その折には、改めて連絡を差し上げたいと考えています。また、天神での街頭募金もまだ再開の目処は立っていません。

重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」会長 伊原幹治

ご協力ありがとうございました

(2021年3月1日～5月31日) 敬称略

〔法人〕

一般献金

青森バプテスト教会女性会、阿部直子、飯田節子、磯寄佳果、鷗友学園女子中等高等学
校奉仕委員会、大高玄子、(学)
福岡女学院、恵泉バプテスト
教会女性会、相模裕一、(宗)
日本バプテスト篠崎キリスト
教会、西南学院バプテスト教
会兄弟会、聖ミカエル幼稚園、
高瀬孝介、筑紫野二日市キリ
スト教会婦人会、チャレンジ
はうす篠栗、筑波バプテスト
教会、東洋英和女学院中高部
宗教委員会、土地家屋調査士
法人エビス、富野バプテスト
教会、日本バプテスト連盟久
留米キリスト教会、日本バプ
テスト連盟豊橋キリスト教会、
日本バプテスト連盟南名古屋
キリスト教会、波多野陽子、
林香代美、林俊明、久山療育
園手作品売上、福岡アルミ工
業(株)、福岡国際キリスト教会、
福岡女学院教会、福田眞治、
豊前キリスト教会、防府バプ
テスト教会、匿名、吉見末男
(以上3,656,169円)

献金箱、福岡北ライオンズク
ラブ
(以上200,953円)

〔施設〕

一般献金

飯田節子、大場奈緒子、岡本
好枝・修一、田中節子・由美
日本バプテスト連盟千川キリ
スト教会、野原弥栄子、藤野
明子、松尾国利
(以上266,500円)

献品

入山秀美(はがき)、岩崎慧祐
(はがき)、太田キリスト教会
女性会(タオルエプロン他)、
大塚みどり(鯉のぼり一式)、
久保山信・剛(はがき)、合屋
勉(はがき)、古賀豊(はがき)、
児湯キリスト教会女性会(洗剤
他)、堺きよみ(タオル他)、坂
井太(空気清浄機)、鮫島経男
(タオル他)、新藤佐知子(はが
き)、高瀬孝介(タオル)、高瀬
寛(絵本)、調幸子(ミシン他)、
常廣澄子(汚れふき用布)、鳴
戸健太郎(本)、二宮章年(デジ
タルカメラ他)、林俊明(切手
他)、松尾裕美(タオルセット
他)、宮崎信義(本他)、安井洋
子(タオル他)
(以上11,760円)

〔重症者ホーム〕

一般献金

自動販売機売上献金、井手伸
昌、井上美佐子、匿名、中村
美保、鳴戸陽介、久山療育園

ボランティアだより

感じる「つながり」

福岡女学院大学の「にここクラブ」(山之内ゼミ)の皆さんより、プレゼントが届きました。ゼミでは、「障害児と楽しむ玩具と教具づくり」をテーマに様々な玩具が作られているようで、その中の一つ「がちゃがちゃオルゴール」を送ってくださいました。がちゃがちゃのケースにオルゴールが組み込まれていて、パカッと開けてネジを回せます。ふたを閉めても聞こえるように穴があけられていて、オルゴールの音色はCDとは違い、優しく静かに響きます。ベッドサイドでも手軽に聴けるので、触って遊ぶ方もおられました。テーブルに置くとゆらゆら揺れてみてもかわいいです。このがちゃがちゃオルゴールに学生さんたちの思いが込められていると思うと、更に温かく感じました。温かい気持ちのこもったプレゼントに、利用者だけでなくスタッフもホッと一息つくことができました。本当にありがとうございました。

(ボランティア委員会 陣内晶子)



歩 行 器

今年も梅雨が明け、暑い夏がやってきました。園の近くに大きな農業貯水池「高橋池」があり、春には杏子や桜の花が美しく咲いています。池では野鳥や亀の甲羅干しが見られ、私にとっては心安らぐ昼休みのウォーキングコースとなつていきます。ここでは、季節のいいときには園のスタッフが入所者を車椅子に乗せて、散歩している姿が見られます。

その中であつて、新型コロナウイルス感染症はあしかけ3年になります。7月11日現在、世界の感染者数は約1億8,600万人、死亡者約403万人になり、日本でも感染者は約82万人、死亡者は約1万5千人にもなっています。現在はその上にデルタ株の猛威が懸念されています。

今年2月から日本ではワクチン接種が始まり、少しずつではありますが、日常生活を取り戻しつつあります。久山療育園でも職員へのワクチン接種も終わり、入所者の方々への接種も徐々に進んでいます。

これでコロナ感染症への予防策が少しずつ進み、小さな明かりが見えてきたような気がします。

しかしながら、100年ほど前の1918年から3年間、全世界で猛威を振るったスペイン風邪では、世界では5億人が感染し、5千万人が死亡、日本でも感染者2400万人、死亡者45万人と言われています。

そのため、今回ワクチン接種が始まったとしても、終息宣言が出るまで、まだまだ安心はできません。

久山療育園では365日24時間体制で、入所者の方々の命を見守っています。昼間は当然ながら、夜間でも、準夜勤、深夜勤と医師はじめ多数の看護師、介護福祉士、保育士、療育員が当直し、2時間おきの見回り、確認を行い、体調管理と入所者の治療に当たっています。

コロナ禍の中、我々職員もウイルスを園に「持ち込まない、広めない」を念頭に、マスク着用、手洗い、三密防止等、感染予防対策の徹底を更に進めています。

入所者・通園者の方々がコロナ感染症にかからず生き抜いていただきたいと祈る毎日です。

(H・N)